

日本フィル「被災地に音楽を」

訪問コンサート レポート 第56 号

被災地支援の訪問演奏は、2011年4月からはじまり、2024 年 12 月末で通算 358 回となりました。



原町第一中学校定期演奏会での共演

訪問地 福島県南相馬市

2024年 10 月 4 日 楽器クリニック

会場:原町第一中学校

10 月 5 日 練習指導／合同ステージリハーサル 会場:ゆめはっと

10 月 6 日 定期演奏会 会場:ゆめはっと

訪問メンバー

フルート 斎藤光晴

オーボエ 高崎智久

クラリネット 久保田智巳

ファゴット 大内秀介

ホルン 原川翔太郎

トロンボーン 伊波睦

パーカッション 廣政志

福島県南相馬市は、日本フィルの活動拠点である杉並区の交流自治体であり、災害時相互援助協定を結んでいる地域です。日本フィルは2011年6月から南相馬市の訪問を継続しています。南相馬は震災前から吹奏楽が盛んな地域で、近年は原町第一中学校(以下、原一中)吹奏楽部を毎年訪れています。

今年度の原一中の定期演奏会には、原一中の他にも、原町第二小と第三小の子どもたちも合同演奏ステージに参加。また定期演奏会は、例年地域の方も多くご来場されるため、原一中の子どもたちと地域の方を繋ぐ機会に、少しでも日本フィルとして応援ができればと考え、今回の訪問を行いました。

2024年 10月4日 楽器クリニック

今回は木管楽器・金管楽器・打楽器の総勢 7 名が訪問し、楽器ごとに部屋に分かれて指導を行いました。

楽曲の指導もさることながら、基礎指導にも重きをおいてレッスンが進んでいきました。ホルン・トランペットクラスでは、全員が同じ高さの音を一音ずつ吹いてリレーのようにつなげていくロングトーンの練習が行われました。合奏で大切な“お互いの音を聴く”訓練にもなりました。

トロンボーンクラスでは、講師の音を聴いて、それを真似て同じように吹く練習が行われました。演奏家の音を聴きながら自分の音と向き合う経験は、このクリニックならではの醍醐味です。

レッスンの後は充実の表情を浮かべている子どもたちの様子が印象的でした。



2024年 10月5日 練習指導・合同ステージリハーサル

この日は、原一中単独ステージのリハーサルの指導と、日本フィルと原一中の合同ステージのリハーサルを行いました。

楽員が加わらない原一中単独ステージの曲では、ホールの客席から音のバランスを聞き、各パートに指導したり、子どもたちの横で技術的・音楽的な指導をしたりと、各パートの子どもたちに寄り添った指導を行いました。

合同ステージのリハーサルでは、楽員がそれぞれのパートに入り、子どもたちと一緒に演奏します。プロの演奏家の音を聴きながら一緒に演奏することは、時に言葉での指導よりも実感を伴って多くの学びを得るものです。



2024年 10月6日 南相馬市立原町第一中学校吹奏楽部コンサート ～日本フィルハーモニー交響楽団のアンサンブルを迎えて～

いよいよコンサート本番の日を迎えました。早朝から入念なりハーサルを終えた後、地元の多くのお客様を迎えて開演しました。第 1 部は原一中のクラシック曲ステージ(コンクールの課題曲など)に始まり、第 2 部は原一中ポップス曲ステージ、そして第 3 部は日本フィルの木管五重奏で室内楽ステージ、第 4 部は原一中と原町第二小、第三小、そして日本フィルによる合同ステージの 4 部構成となりました。

1 部と 2 部の原一中の単独ステージでは、生き生きとした演奏がホール中に鳴り響き、日本フィルのメンバーも客席でその演奏を聴きました。

第 3 部の日本フィル室内楽ステージでは、本格的なクラシックの室内楽の演奏を届けました。今回選んだ曲は、

- ・ロッシーニ:「セビリアの理髪師」序曲
- ・モーツァルト:セレナード第 12 番ハ短調 K.388「ナハトムジーク」
- ・ファルカシュ:17 世紀のハンガリー古典舞曲集より

の 3 曲。吹奏楽に打ち込む子どもたちに、木管五重奏の本格的な曲を聴いてもらいたい、というのが今回の狙いでした。

原一中と日本フィルの合同ステージでは、アンコールも含め全 4 曲を演奏しました。演奏に打ち込む真剣な眼差しの子もたち、それを観客席から見守る地域の方。温かくも熱い指導をする先生に、子どもたちの活動を陰で支えている保護者会の皆さん。多くの方が関わり、支え合って、今年も定期演奏会を成功のうちに終えました。この演奏会をきっかけに、原一中の吹奏楽部に入学したい！と考える未来の原一中生が増えることを願ってやみません。これからも地域の音楽文化を担う原一中の活動を応援し続けたいと考えます。



来場者アンケートより:

- ・すばらしいハーモニーにうっとりしてしまいました。何度も被災地に行って励ましてくださり、私も被災者です。とてもありがたく思います。感謝です。
- ・大人数での演奏はとても力が入り、聴いていても楽しかったです。その分、全体をまとめるのが大変かと思いますが、とても素敵でした。日本フィルハーモニー交響楽団の皆さん、いつもありがとうございます。これからもよろしくご指導ください。
- ・プロの演奏に聞きほれました。なかなかこのような機会が少ないので、貴重な体験でした。ありがとうございます。
- ・(日本フィル木管五重奏の)5 人の音の響きが無限大に広がって行って、素晴らしいステージでした。感激いたしました。原一中生たちにとっても大きな刺激になったことと思います。ありがとうございました。
- ・毎回、わざわざ南相馬にきてくださってありがたいです。
- ・とてもすばらしい演奏と楽しい時間をありがとうございました。原町一中の皆さん全国大会も頑張ってください。

終演後に舞台上でささやかな交流会が行われ、楽員から部員たちへ一人ずつメッセージを送りました。

「良い音楽をたくさん聴いて、耳を育ててくださいね」というメッセージや、日本フィルが最初に原一中との交流を始めた頃から参加している楽員からは、「12 年前の原一中のサウンドの伝統が今もなお受け継がれていると感じました」という言葉も。原一中の活動を長い間応援し続けていますが、感染症の影響などで交流が一時途絶えてしまった時期を乗り越えて、再び交流ができていることに感謝するひと時になりました。

そして部員たちや先生からも「日本フィルとの交流で、たった 3 日間でも音が変わる」とお礼の言葉が。充実した交流を経て、名残惜しいひと時となりました。

帰りのバスに乗り込むと、原一中の子どもたちが外に出てお見送りをしてくれました。この伝統も長らく受け継がれているものです。また交流できる日を心待ちに、南相馬を後にしました。



◆これまでの南相馬訪問記録

2011 年	6 月 25～26 日	鹿島保険センター(避難所)、原町第二中学校(避難所)、道の駅南相馬(避難所)、原町第一小学校(避難所)
2012 年	3 月 27 日	原町第一中学校
	3 月 29～30 日	鹿島中学校、原町第二中学校
	10 月 24～25 日	鹿島小学校、農家民宿いちばん星、南相馬市民文化会館「ゆめはっと」
2013 年	4 月 3～6 日	原町第二中学校、鹿島中学校、石神中学校、原町第一中学校
	10 月 22～25 日	原町第一中学校、高平小学校、原町第三小学校、金房小学校、福浦小学校、鳩原小学校、原町第二小学校
2014 年	4 月 3～5 日	原町第三中学校、石神中学校、原町第一中学校
	12 月 23 日	南相馬市民文化会館「ゆめはっと」
2015 年	5 月 1～3 日	原町第二小学校、原町第一中学校
	9 月 4～6 日	同慶寺、原町第一中学校、原町高校、南相馬市民文化会館「ゆめはっと」
	11 月 30 日	鹿島生涯学習センター
2016 年	4 月 2～3 日	同慶寺、原町第一中学校
	5 月 6～7 日	原町第一中学校
2017 年	7 月 1～2 日	原町第一中学校、原町高校
	10 月 14～15 日	南相馬市博物館
2018 年	10 月 6～8 日	原町第一中学校、南相馬市民文化会館「ゆめはっと」
2019 年	10 月 4～6 日	原町第一中学校、南相馬市民文化会館「ゆめはっと」
2020 年	8 月 23 日	南相馬市民文化会館「ゆめはっと」
2021 年	6 月 26 日	原町第一中学校(オンライン)
2022 年	10 月 8～10 日	原町第一中学校、南相馬市民文化会館「ゆめはっと」
2023 年	9 月 23～24 日	原町第一中学校